

<第2部：対談テーマ>

○全国連携プロジェクトへ
明治安田生命が
参画する意義について

○連携の実績と
プロジェクトに対する評価、
今後の展望について



令和6年度第2回 全国連携講演会

特別区全国連携プロジェクト
10年のあゆみとこれから

< 第2部：対談テーマ1 >

全国連携プロジェクトへ 明治安田生命が 参画する意義について



令和6年度第2回 全国連携講演会

特別区全国連携プロジェクト
10年のあゆみとこれから

行政サービス案内活動の展開

行政サービス案内活動の展開趣旨・背景

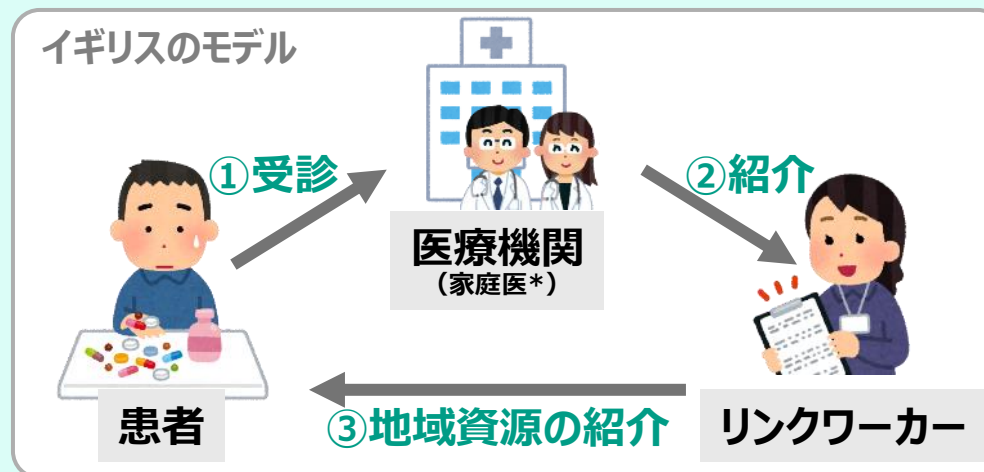
- 社会的処方×明治安田＝「新たな社会的価値の創造」をめざす

社会的処方（Social prescribing）

患者を非医療サービス（地域資源：サークルやケアサービス）にむすびつけ、健康やQOLを回復させようとする社会的仕組み
イギリスではじまり、世界中に広がりつつある



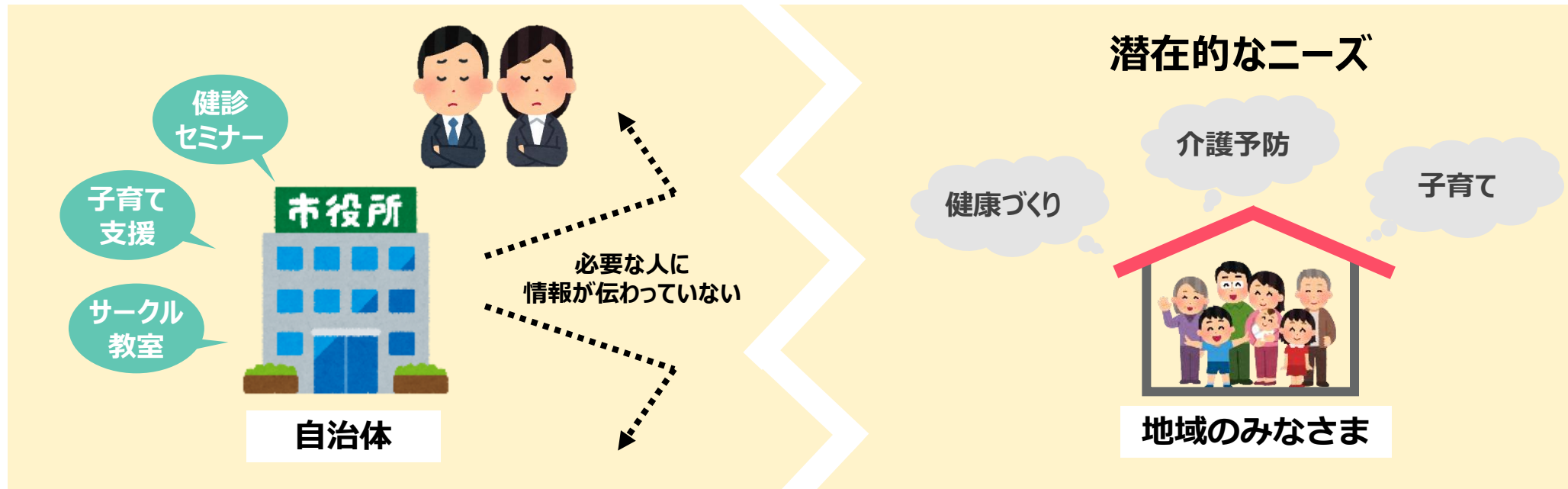
WHOによるツールキット
（2022年5月公表）



*英国独自の医療制度

自治体の課題認識

- 「実施している行政サービス等の情報が地域のみなさまに十分に届いていない」という自治体の課題認識

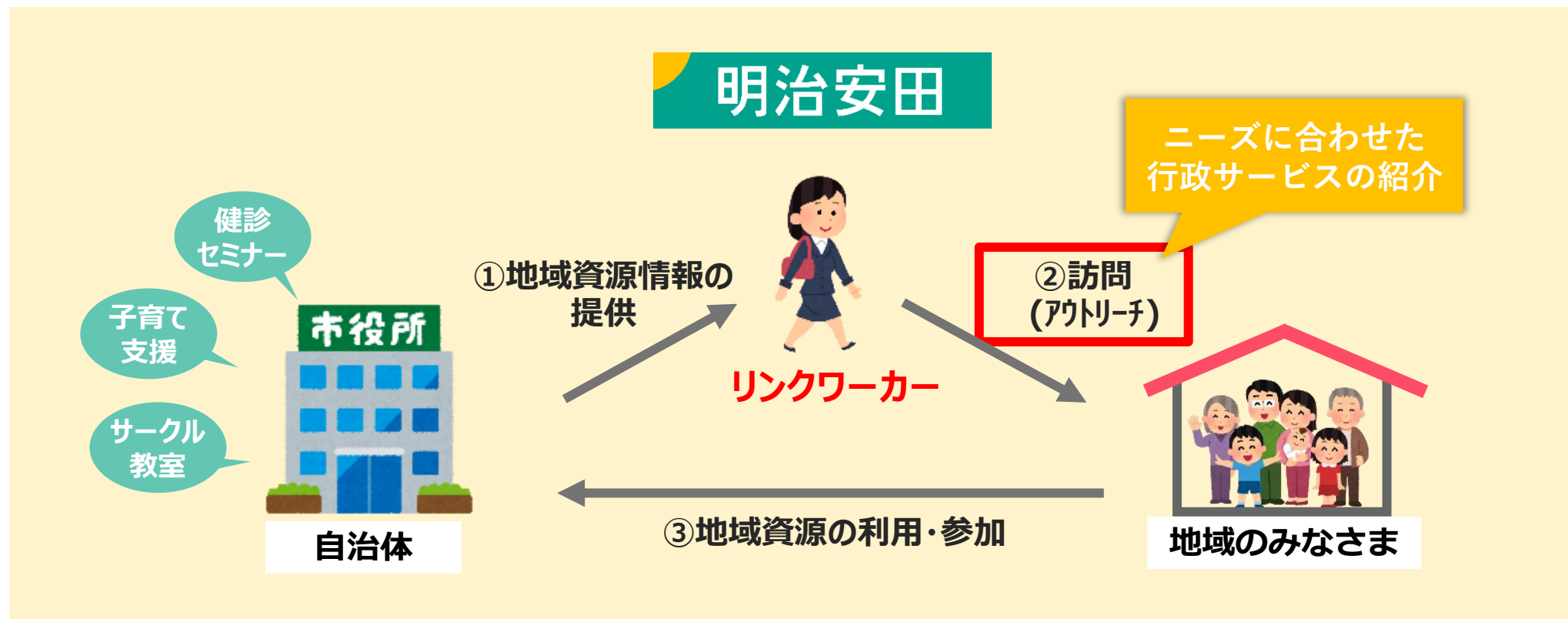


さまざまな行政サービスや
地域資源、公的支援機関

行政サービス案内の
確認・利用

明治安田が地域みなさまに情報をお届け

- 自治体の課題をふまえ、明治安田の営業職員（MYリンクコーディネーター）が地域みなさまに行政サービスを案内



「全国連携プロジェクト」への参画事例

事例① 全国連携講演会

2022年8月30日

- 特別区長会の取り組む「全国連携プロジェクト」の一環である年2回開催の「全国連携講演会」へ初参画
- 包括連携協定を締結した2022年にブランド戦略部長による「地元の元気プロジェクト」の紹介講演を実施
- 23区および地方自治体の官民連携担当者を交えてパネルディスカッションも開催

EVENT <

～令和4年度第1回全国連携講演会(オンライン)～

「豊かな地域づくりに向けた
官民連携のあり方を考える」

令和4年8月30日(火)

「豊かな地域づくりに向けた官民連携のあり方を考える」
をテーマに、講演会(オンライン)を開催し、174名の方
にご参加いただきました。

※講演会の内容は特別区全国連携プロジェクトHP
<http://collabo.tokyo-23city.or.jp/> からご覧いただけます。



明治安田生命保険相互会社(堀田氏) 港区(伊藤氏)

港区(柴崎氏) 袋井市(鈴木氏)



特別区全国連携プロジェクト 令和4年度 第1回全国連携講演会



【日時】
令和4年8月30日(火)
14:00～17:00

【開催方法】
オンライン開催
(Zoom ウェビナー・YouTube ライブ)

【対象】
どなたでも参加できます

【参加費】
無料

【定員】
150名程度

東京23区(特別区)では、全国各地域との信頼関係・絆をさらに強化し、連携を深める取組
みとして「特別区全国連携プロジェクト」を進めています。このプロジェクトの取組として、「豊かな地
域づくりに向けた官民連携のあり方を考える」をテーマに、講演会を開催します。

【申込方法】

- メールの本文に、①氏名、②所属(自治体名、会社名など)、③連絡用メールアドレス、④(1台の端末で
申込書以外が複数送れる場合は)人数を記入して、以下のメールアドレスまでご送付ください。
<メールアドレス> info-216@tokyo-23city.or.jp
- 2日以内(土日・祝日も除く)を目途に、受付完了のメールを返信いたします。3日以上経過してもメールが
届かない場合、電話でご確認をお願いします。
<電話番号> 03-5210-9068(公益財団法人特別区協議会 事務局 事業推進課)
※お申込みに関する個人情報は、講演会の運営のみで使用し、第三者に提供・開示することはありません。
- 申込締切り: 令和4年8月25日(木)17時

【注意事項】

- 講演会は、Zoom ウェビナー・YouTube ライブで配信いたします。いずれかに接続可能な端末(PC等)の準
備をお願いします。視聴に伴う通信料の負担等については、各自でご確認ください。
- 開催2日前を目途に、メールでURL等をお知らせいたします。
- 講演会の録音・録画は、禁止いたします。
- ※講演会の録画映像はホームページで公開する予定です。

事例② 全国連携講展示（山梨・千葉）

2022年10月（山梨）・2023年3月（千葉）

- 区政会館で開催された「全国連携プロジェクト」の一環である「全国連携展示」を明治安田ギャラリーにて巡回開催
- 自治体関係者が参加し、観光案内や小規模物産展も初開催（千葉）
- 自治体の官民連携担当者を交えてパネルディスカッションも開催



展示期間 令和4年10月25日（火）～10月27日（木）

会場：明治安田生命ビル（東京都千代田区丸の内2-1-1）

MY PLAZA 1階 MYギャラリー

時間：各日とも 9:00～21:00

主催：特別区長会・公益財団法人特別区協議会／連携協力：山梨県町村会

本展示は、特別区長会と明治安田生命保険相互会社との包括連携協定（締結日：令和4年3月29日）に基づく取組みの一環として、同社の協力により実施するものです。



展示期間 令和5年3月30日（木）～4月6日（木）

会場：明治安田生命丸の内本社ビル（東京都千代田区丸の内2-1-1）

MY PLAZA 1階 MYギャラリー

時間：9:00～20:00

主催：特別区長会・公益財団法人特別区協議会

連携協力：千葉県市長会・明治安田生命保険相互会社

事例③-1 魅力発信イベントの開催

2024年10月30-31日

- 特別区長会の取り組む「全国連携プロジェクト」の一環である「魅力発信イベント」を明治安田ヴィレッジで開催（4年ぶり）
- 1Fエントランス、明治安田ギャラリー、4F 明治安田ホール前ホワイエ等を活用し、物産展や日本酒の試飲会等を開催（2日間で1,626名の来場があり、メディア等での報道も多数）



10/31東奥日報（青森）

県内の名産品 魅力発信

東京・丸の内 全国連携イベント



東京23区の特別区長会と特別区協議会は30日、東京都千代田区の「明治安田ヴィレッジ丸の内」で「全国連携プロジェクト魅力発信イベント」を開いた。31日まで。30日は青森市や黒石市など全国10市町村が物産コーナーを設け、地域の名産品をPRした。

東京23区が全国各地域と連携して進める日本の元気

づくりを掲げ産業・観光・文化・スポーツの分野で経済活性化などにつなげる交流事業として2014年にプロジェクトがスタート。県市長会と県町村会は16年に協定を結んだ。イベントは各自自治体の魅力発信の場となっており10回目。本県のブースではリンゴジュースや南部せんべい、シジミのみそ汁のほか黒石

青森市や黒石市などが地元産品などをPRしたイベント＝30日午前、東京都千代田区

市の新たな津軽「けし」ルビンの「けし」などが並び、来場者の関心を呼んだ。同市の太田淳也観光課長は「それぞれの産品を手に取り「こういう街があるのか」と知ってもらい、足を運ぶきっかけになれば」と期待を寄せた。

今回のイベントは明治安田生命保険が共催。
(本間善幸)

11/1都政新報（東京）

5年ぶりに大規模イベント

銘菓・伝統工芸品など販売



特別区が全国の自治体と連携・交流事業などに取り組む「特別区全国連携プロジェクト」の魅力発信イベントが10月30日、31日に明治安田ヴィレッジ丸の内（千代田区）で開催された。同イベントは新型コロナウイルス禍前の2019年度以来、5年ぶりの本格開催となった。

区長会が広域連携協定を締結する道府県の町村会・市長会が観光をPRするとともに、りんご菓子やけしなど地方の銘菓や伝統工芸品を販売。地酒を飲み比べできるコーナーも設置した。

会場を提供した明治安田生命保険は区長会と包括連携協定を締結しており、初日のオープニングセレモニーでは吉住健一区長が「本イベントをお楽しみいただき、各地域の魅力や特色を多くの方々に知っていただき、各地を訪れて魅力をじかに触れ体験するきっかけになるように願っている」とあいさつした。

特別区が全国の自治体と連携・交流事業などに取り組む「特別区全国連携プロジェクト」の魅力発信イベントが10月30日、31日に明治安田ヴィレッジ丸の内（千代田区）で開催された。同イベントは新型コロナウイルス禍前の2019年度以来、5年ぶりの本格開催となった。

区長会が広域連携協定を締結する道府県の町村会・市長会が観光をPRするとともに、りんご菓子やけしなど地方の銘菓や伝統工芸品を販売。地酒を飲み比べできるコーナーも設置した。

会場を提供した明治安田生命保険は区長会と包括連携協定を締結しており、初日のオープニングセレモニーでは吉住健一区長が「本イベントをお楽しみいただき、各地域の魅力や特色を多くの方々に知っていただき、各地を訪れて魅力をじかに触れ体験するきっかけになるように願っている」とあいさつした。

事例③-3 魅力発信イベントの開催

2024年10月30-31日

11/1山梨日日新聞（山梨）



11/1青森朝日放送（青森）※テレビ放映



明治安田生命としての強み

当社にできること

➤ 全国の拠点や対面チャネルを活かし、ニーズを掘り起こし行動変容を後押し



**対面での
お客さまとの接点**

営業職員
(MYリンクコーディネーター)

約36,000人

営業拠点
(支社・営業所・法人営業部)

約1,170拠点



**長期に亘るお客さまとの
契約期間**

**生命保険のご契約期間は
長い場合数十年に亘る**



**対話の機会を通じた
行動変容の後押し**

年間対面活動数
約580万件/年

当社主催の
健康増進イベント
約2,000回/年

< 第2部：対談テーマ2 >

連携の実績と プロジェクトに対する評価、 今後の展望について



令和6年度第2回 全国連携講演会

特別区全国連携プロジェクト
10年のあゆみとこれから

自治体さまと当社の連携方法について

自治体さまとの実績報告会でのフィードバック

➤ 年2回の「実績報告会」（9-10月、2-3月）にて、地域のみなさまの声を自治体さまにフィードバック

実績報告会 実施概要

- ・協働取組みの実施状況を共有
- ・地域のみなさまからの声をフィードバック（行政サービス案内状況等）
- ・地域課題解決に向けた今後の取組みを協議

坂戸市 御中

2023年4月-2023年9月

坂戸市との協働取組みの成果

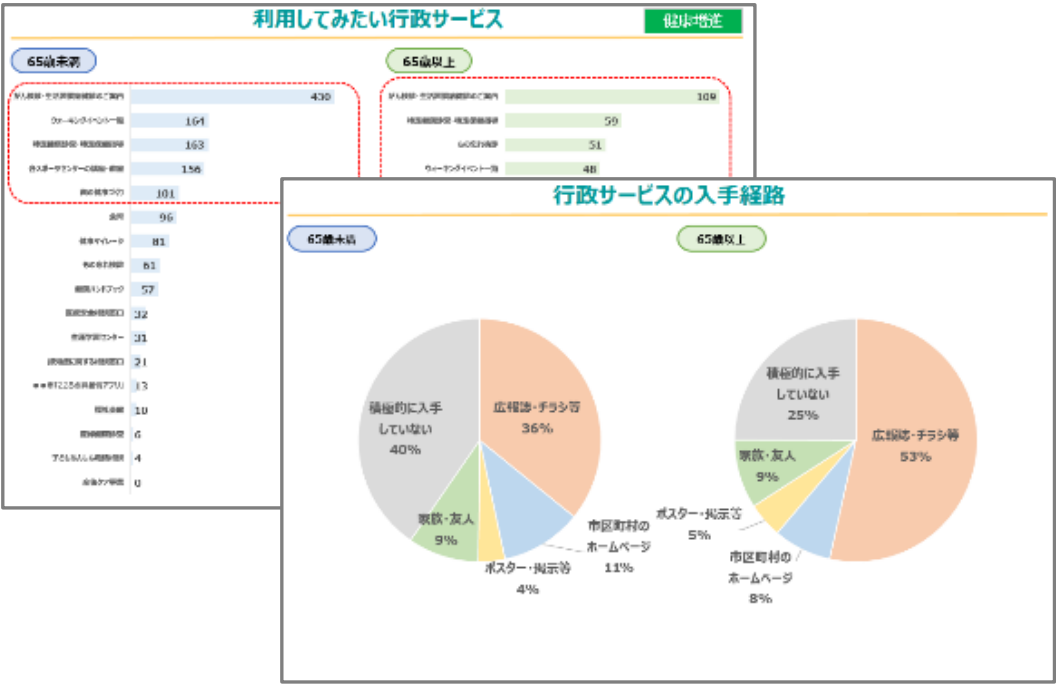
2023年10月30日
明治安田生命保険相互会社
川越支社 西坂戸営業部
坂戸営業所

みんなの健活プロジェクト

2. 地域課題解決に向けた取組み

(地域のみなさまの心身の健康保持・増進)

地域課題の解決の取組み	事例1	事例2	事例3
取組名	大人の塗り絵コンクール	地元クラブとのサッカー教室	献血普及・啓発活動
目的	脳の活性化を促した認知予防への支援	地域の子どもの健全育成等に貢献	医療・福祉・介護分野などの社会福祉への貢献
取組内容・特徴	 自治体から後援をいただいた、認知症予防への効果が期待できる「大人の塗り絵コンクール」について、当社営業職員が多くの地域住民にご案内	 自治体と協働で、COEDO KAWAGOE F.C. サッカー選手・コーチから直接指導を受けることができるサッカー教室を開催	 献血バス運行スケジュール本などの地域住民向け周知活動チラシを作成し、当社営業職員が幅広くご案内
実施時期	6月～8月	7月	9月
協働先	朝霞市・川越市・坂戸市（後援）	COEDO KAWAGOE F.C.	日本赤十字社埼玉支部・献血センター
取組みの効果 (参加人数・認知症予防等)	約60名が参加 サッカーの楽しさを実感でき、これからはサッカーを遊みたいと思った	約70名が参加 初めての献血だったが、社会福祉への貢献ができてよかった	



< 第2部：対談（結びに） >

皆様へのメッセージ



令和6年度第2回 全国連携講演会

特別区全国連携プロジェクト
10年のあゆみとこれから

地域包括支援センターさまとの協働取組みの展開

協働取組みの趣旨・背景

- 生命保険会社の役割を超えていくための代表的な取組みの一つとして、地域包括支援センターさまとの協働取組みを展開

生命保険会社の役割を超える



価値を届ける場を広げる

より地域に根差し、
新たなお客さまとのつながりの拡大



届ける価値を広げる

地域のみなさまの
健康増進をサポート

「地域包括支援センターさまとの協働取組み」を展開

協働取組み展開モデル

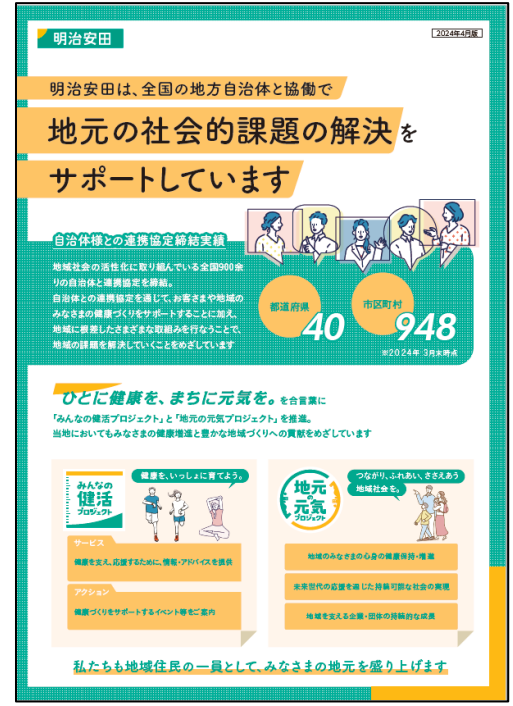
➤ 協働取組みでは、主に3つの取組み「①情報のお届け」、「②イベント開催」、「③地元企業との協働」を通じて、お役に立つ活動を展開



①地域のみなさまにセンターさまの情報をお届け



②健康測定会・MY定期講座（※）等のイベントを開催



③より多くの地元企業さまとの協働取組みを展開

(※) 認知症・フレイル予防、健康・睡眠関連、防災等の講座をセミナー形式で開催

センターさまとの協働取組みを実施

- 地域住民のみなさまに「定期的」に情報のお届け、「継続的」な測定会を開催

＜MY定期講座を実施＞



＜健康測定会を実施＞



実施事項

- ・MY定期講座を通じ、定期的に情報をお届け
- ・健康測定会を通じ、継続的に行動変容を促進

全国の皆さんへのメッセージ

共創による多元的価値の創造・提供

- 自治体さま、企業・団体さまとの共創を通じ、広く当社の価値をお届け

